



# 「必要最小限」が省エネの本質

「大は小を兼ねる」ということわざは、省エネには当てはまりません。「必要な時に」、「必要な場所で」、「必要な量」だけエネルギーを使うのが省エネの本質です。現状を見極め、最適化を図りましょう。

## 事例 LED照明の調光制御で照度最適化

省エネ診断をきっかけに従業員から多くのアイデアが出てきました。LEDの調光制御もその一つ。当初は間引きでの対応を計画していましたが、照度にムラが生じたため調光機能を追加し、必要十分な照度に調整すると、約70%の省エネ効果がありました。(投資回収年数: 2年以内)

照度にムラが生じ、歩くのが危ない



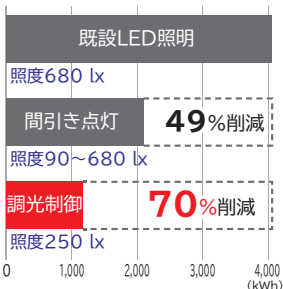
間引き状態  
(照度90~680 lx)

調光制御でムラを解消

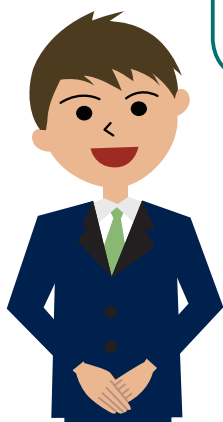


調光制御30%  
(照度250 lx)

【調光制御の省エネ効果】



上記以外にも、ロードヒーティングや空調設備の運用見直し等を行い、ビル全体では、2018年度から5年間で電気使用量を約2割、ガス使用量を約4割削減でき、25%のCO<sub>2</sub>排出量削減が達成できました(年間約1,500万円のコスト削減)。



### 丸紅リアルエーステートマネジメント株式会社 大通バスセンタービル 様 (北海道札幌市)

1960年設立。オフィス、商業施設など様々なタイプの建物や施設の運営管理を行っている(取物件数約370件)。大通バスセンタービルは、さっぽろテレビ塔に近接した1975年竣工の歴史ある事務所ビル。延床面積24,401㎡(1号館、2号館合計)



※丸紅リアルエーステートマネジメント様の省エネ活動の詳細は「省エネ事例集2023年度」で紹介しています。

